

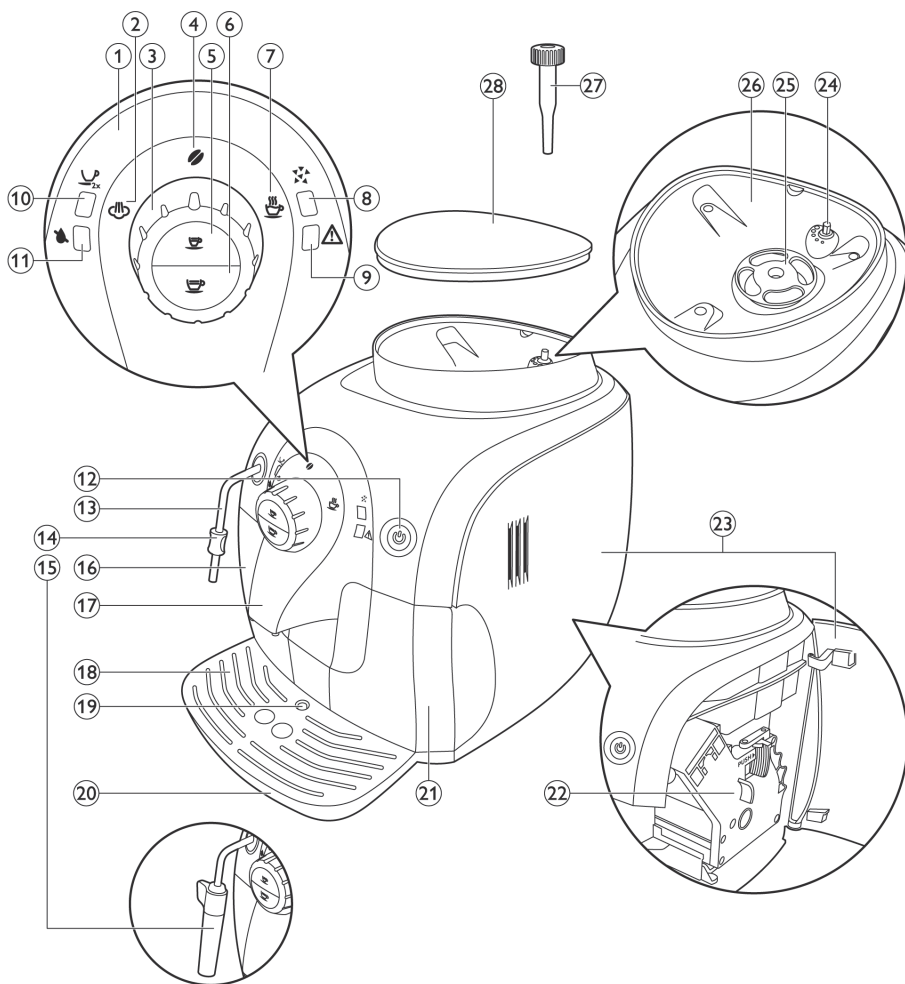
GAGGIA

MILANO



GAGGIA BESANA

取扱説明書
INSTRUCTION MANUAL



部品名称

①コントロールパネル	②スチームアイコン	③切替ダイヤル	④コーヒー豆アイコン
⑤エスプレッソボタン	⑥エスプレッソソルンゴボタン	⑦給湯アイコン	⑧除石灰ランプ
⑨警告ランプ	⑩2杯連続抽出ランプ	⑪水タンク水位ランプ	⑫ON/OFF ボタン
⑬スチーム / 給湯ノズル	⑭ゴムグリップ	⑮バナレロ	⑯水タンク
⑰コーヒー抽出口	⑱ドリフトトレイ目皿	⑲ドリフトトレイ浮き	⑳ドリフトトレイ
㉑コーヒーカス容器	㉒ブルーイングユニット	㉓サイドドア	㉔グラインダー調整ツマミ
㉕セラミックコーヒーグラインダー	㉖コーヒー豆容器	㉗グラインダー挽き粗さ調節キー	㉘コーヒー豆容器蓋

付属品

1. 清掃用ブラシ 2. グリス（試供品 5g） 3. 取扱説明書 4. 除石灰剤 MEL-F2000 5. メンテナンス案内

P.1	表紙
P.2	展開図
P.3	目次
P.4～5	はじめに ・警告 ・注意 ・安全に関するお願い
P.6	マシンの設置
P.7～10	マシンの起動準備 ・水タンク ・コーヒー豆容器 ・マシンの起動 ・自動すぎ/手動すぎ ・インテンザ浄水フィルターの取り付け方
P.11～13	使用方法 ・1～2杯のコーヒーを抽出する ・カプチーノなど、ミルクメニューの作り方 ・給湯 ・マシンの調整 - セラミックグラインダーの調整 - コーヒー抽出量の調整
P.14～16	清掃とメンテナンス ・バナレロとスチーム/給湯ノズルの洗浄 ・ブルーイングユニットの洗浄 ・ブルーイングユニットのグリスアップ
P.17～19	カルキ洗浄作業
P.20～21	各ランプの説明
P.22	よくあるお問い合わせ
P.23	製品仕様

警 告

電化製品を使用する場合、次の項目を含め、基本的な安全上の注意事項を必ず守ってください。

1. 取扱説明書を必ず読んでください。
2. マシンは使用中、高温になることがあります。高温になる箇所に触れずハンドルまたはつまみを使用してください。
3. 火災、感電、人身傷害を避けるために、コード、プラグなどを水やその他の液体に浸さないでください。
4. マシンを子供の近くで使用される場合、近くでの監督が必要です。
5. 未使用時や清掃時はコンセントからプラグを抜いてください。部品の取り外しや、マシンを清掃する前にはマシンを十分冷ましてから実行してください。
6. コードやプラグ、マシンが故障、破損しているものは絶対に使用しないでください。検査、修理、整備のため、サービスセンターに連絡してください。
7. メーカー推奨以外の付属品を使用すると、火災、感電、事故につながる可能性があります。
8. 屋外では使用しないでください。
9. コードをテーブルやカウンターの端にかけたり、マシンの高温になる箇所に触れさせないでください。
10. ガス、電気コンロの上や近くにマシンを置かないでください。また、オープンに入れないでください。
11. マシン起動時にはプラグをマシンに接続してから、コードをコンセントに接続してください。OFF 時には電源スイッチを「OFF」にしてから、コンセントからプラグを抜いてください。
12. マシンを本来の目的以外に使用しないでください。
13. 上記の項目を厳守してください。

電源コードの説明

- A. 電源コードのねじれ、引っかかり等のリスクを軽減するために、短い電源コードを使用しています。
- B. 延長コードの使用は可能ですが、設置や接続に注意してください。
- C. 延長コードを使用する場合は、
 1. 延長コードの定格電圧が、マシンの定格電圧と同じである必要があります。
 2. 電源コードの形状と一致した、延長コードを使用してください。
 3. 延長コードをカウンターやテーブルの上から垂らさないように配置する必要があります。子供が引っ張ったり乗り越えたりすることができないよう、設置してください。

注 意

清掃やメンテナンス以外の作業は、認定サービスセンターで行ってください。
マシンを水に浸さないでください。火災や感電の危険を避けるため、分解しないでください。
マシン内の部品は販売、譲渡（提供）していません。修理は認定サービス技術者のみが行ってください。

1. 銘板に示されている定格電圧が、使用家屋の電圧と一致することを確認してください。
2. 水タンクにはお湯を入れないでください。冷水のみを使用してください。
3. マシン稼働中は手やコードをマシンの高温部分に近づけないでください。
4. 清掃時、研磨剤や効き目の強い洗剤、たわしを使用しないでください。
水に濡らしよく絞った布を使用してください。
5. コーヒーを美味しく抽出するために、浄水またはボトル入りの水を使用してください。
6. キャラメル、フレーバーコーヒー豆は使用しないでください。
上記の場合は保証期間であっても保証対象外となります。

安全に関するお願い

マシンには安全装置を装備しておりますが、本書をしっかりと読み、その内容に従ってください。
誤った操作をしますと、怪我、マシン破損の恐れがあります。

本書を参考に取り扱いをお願いします。

本書（取扱説明書）はマシンに不可欠なものであり、マシンの取り扱いを参照するために大切に保管してください。

警 告

- ・ マシンの使用にあつた電圧のコンセントを使用してください。
- ・ アース付きのコンセントを使用してください。
- ・ 電源コードをテーブルやカウンターの端にかけたり、マシンの高温になる箇所に触れさせないでください。
- ・ マシン、電源プラグまたは電源コードを水に浸さないでください。感電の危険があります。
- ・ 電源コードソケットを濡らさないでください。
- ・ スチーム／給湯ノズルを体に向けしないでください。火傷の危険があります。
- ・ マシンの高温になる箇所に触れないでください。ハンドル、つまみを使用してください。
- ・ 以下の場合、マシンの電源を切ってから、電源コードをソケットから抜いてください。

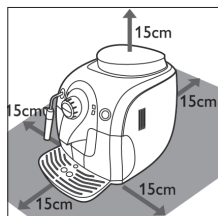
故障が発生した場合。

長時間使用しない場合。

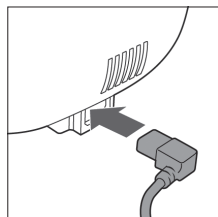
マシンを清掃する場合。

- ・ 電源コードを抜く場合、コードではなくプラグをつまんで引っ張ってください。
- ・ タコ足配線はお避け下さい。
- ・ 濡れた手で電源コードに触れないでください。
- ・ マシンや電源コードが破損している場合、マシンを使用しないでください。
- ・ マシンや電源コードを改造しないでください。
- ・ 危険を避けるため、フジ産業サービスセンター以外で修理をしないでください。
- ・ 8歳未満のお子様にはマシンを使用させないでください。
- ・ 給湯時は火傷の恐れがありますので十分注意してください。

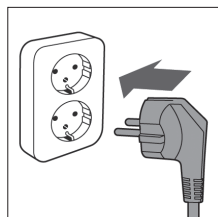
マシンの設置



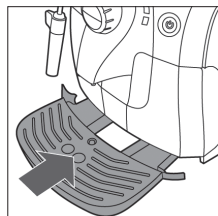
1. マシンを箱から取り出してください。
2. 熱源や直射日光を避けた、衛生的であり安全かつ水平なコンセントに近い場所に設置してください。精密機械(パソコン等)家電製品(テレビ等)の近くに設置しないでください。
3. マシンの前後、左右に 15 cmの空きスペースを確保してください。



4. マシンの後部にあるソケットにプラグを確実に差し込んでください。

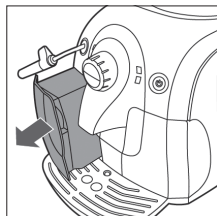


5. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



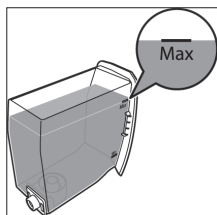
6. ドリフトレイの保護シールを剥がし、マシン前部にある差込口にトレイを差し込んでください。
⚠️ ドリフトレイがきちんと差し込まれていることを確認してください。

マシンの起動準備



《水タンクへ水の補充》

1. 水タンクをマシンから取り外します。

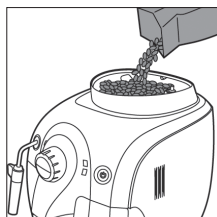


2. 水タンクを水ですすいください。

3. 水タンクの MAX 表示の位置まで新鮮な水を入れてください。

⚠ 水タンクにお湯、炭酸水、その他の液体をいれるとマシンの故障の原因になりますので絶対におやめください。このような場合は、保証期間であっても保証対象外となります。

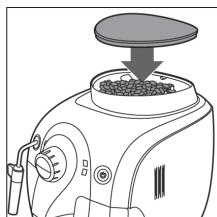
4. 水タンクをマシンにセットしてください。しっかりとセットされていることを確認してください。



《コーヒー豆の補充》

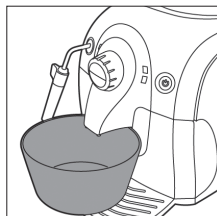
1. コーヒー豆を豆容器に補充してください。

⚠ パウダーコーヒー、生豆、インスタントコーヒー、カラメル、フレーバーコーヒー豆を使用しないでください。故障の原因となります。このような場合は、保証期間であっても保証対象外となります。



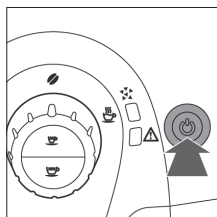
2. 豆容器のフタをセットしてください。

マシンの起動

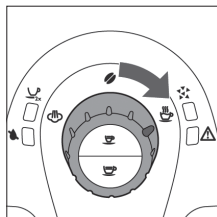


マシンを起動させると自動すぎにより、水回路を通るお湯がマシンを温めます。この作業には数秒かかります。

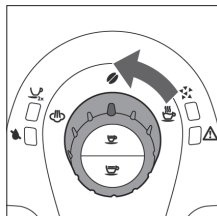
1. 抽出口とスチーム / 給湯ノズル（以下スチームノズル）の下にボール等の容器を置きます。切替ダイヤルがコーヒー豆のアイコンを指していることを確認してください。



2. ON/OFF ボタンを押してください。



3. 警告ランプが速く点滅したら、水回路の充填サインとなります。切替ダイヤルをお湯のアイコンに回してください。警告ランプが消えると、スチームノズルからお湯が出てきます。

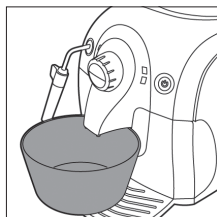


4. 数秒後にスチームノズルからお湯が出なくなり、警告ランプがゆっくり点滅するので、切替ダイヤルをコーヒー豆のアイコンに戻します。
 - －マシン⇒ボイラーを温めている間は、ON/OFF ボタンがゆっくり点滅します。
 - －マシン⇒ボイラーが温まると自動すぎが始まり、お湯が水回路を洗浄します。お湯はコーヒー抽出口から非出されます。
 - －ON/OFF ボタンが点灯になると水回路の充填は完了です。

⚠ エスプレッソボタンかエスプレッソソノゴボタンを押すことで自動すぎを停止できます。

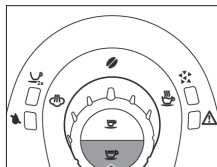
⚠ マシンの電源を切る、もしくはスタンバイモードに入って 15 分経つと自動すぎを開始します。

手動すすぎ

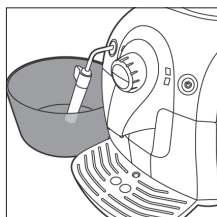


手動すすぎでは、マシンに 1 杯のコーヒーを抽出させることにより、内部回路を使用可能状態にします。

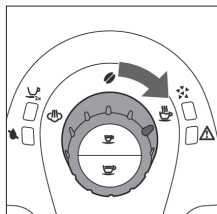
1. 抽出口下にボールを置きます。
2. ON/OFF ボタンが点灯していることを確認してください。



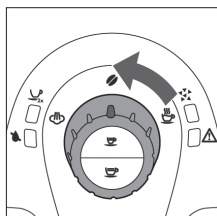
3. エスプレッソソングボタンを押してください。
4. 抽出が終わったらボールを空にしてください。



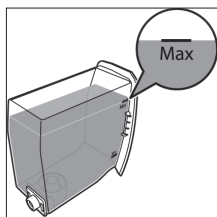
5. スチームノズルの下にボールを置いてください。



6. お湯のアイコンにダイヤルを回してください。
7. 水タンクが空になるまで抽出を続けてください。
—“水タンク空”アイコンが点灯されます。



8. コーヒー豆アイコンにダイヤルを回してください。



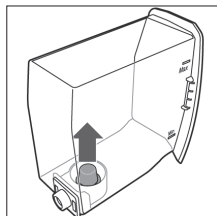
9. 水タンクの MAX まで新鮮な水を満たしてください。
—マシンの使用前準備が完了です。

⚠ 1 杯目のコーヒーは少し水分が多めかもしれませんが、これは正常です。マシンが設定を調整するのに数杯の抽出が必要です。

インテンザ浄水フィルターの取り付け方（オプション品）

機械内にカルキの蓄積を防ぐためにインテンザ浄水フィルターの取り付けをお勧めします。

インテンザ浄水フィルター（以下インテンザ）のご購入は、販売店またはフジ産業三郷センターにお問い合わせください。

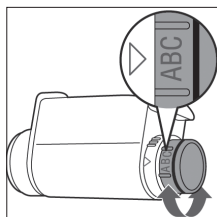


1. 水タンクから小さな白いフィルターを取り外し、乾燥した場所に保管してください。

△カルキ除去の際に必要なになるのでこのフィルターは保管してください。



2. インテンザを箱から取り出し、水の中に開口部を上にして浸してください。インテンザの両側面をやさしく押して、中の空気を出してください。



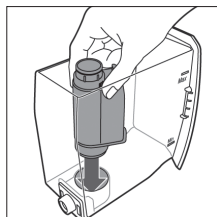
3. インテンザの栓にあるダイヤルを回し、お住まいの地域のお水の硬さに合わせてください。

A. 軟水 出荷時の初期設定

B. 硬水

C. 超硬水

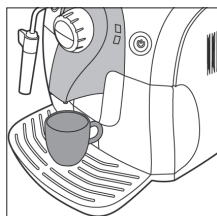
△水の硬度は硬度測定キットで測定することができます。



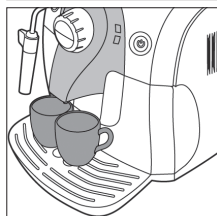
4. インテンザを空の水タンクに差し込みます。
押しても下がらなくなるまでしっかり差し込みます。
5. 水タンクの MAX まで新鮮な水を注ぎ、水タンクをマシンにセットします。
6. 水タンクが空になるまでスチームノズルからお湯を出します。
7. 水タンクの MAX まで再度新鮮な水を注ぎ水タンクをマシンにセットします。

ON/OFF ボタンが点灯に変わればマシンの使用準備は完了です。

使用方法

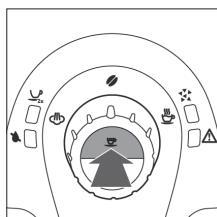


良質なエスプレッソ抽出のために、マシンは定期的に内部回路を水ですすぎます。自動すすぎはマシンがスタンバイモードに入ってから15分後か、ON/OFF ボタンを押した後、電源が切れる前に作動します。自動すすぎの水は直接ドリフトレイに排出されるので、定期的にドリフトレイを空にしてください。



《1~2 杯のコーヒーを抽出する》

1. ON/OFF ボタンが緑色に点灯していて、切替ダイヤルがコーヒー豆のアイコンを指していることを確認してください。
2. ドリフトレイのプレートの上に 1~2 個のカップを置いてください。



3. エスプレッソ又はエスプレッソルンゴボタンを押してください。

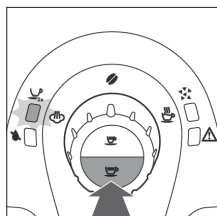
⚠ 抽出をいつでも停止することができます。それには抽出を始めたボタン（エスプレッソかエスプレッソルンゴ）を再度押してください。

— 1 杯のコーヒーを抽出するにはエスプレッソかエスプレッソルンゴボタンを 1 回押してください。

— マシンは 1 杯のコーヒーに必要な量の豆をグラインドし、1 杯分のコーヒーを抽出します。

— 2 杯のコーヒーを抽出するにはエスプレッソかエスプレッソルンゴボタンを 2 回押してください。

— “2 杯抽出” のランプが点灯します。マシンは 1 杯分の豆をグラインドし、2 杯に半分のコーヒーを抽出する動作を 2 回繰り返して、2 杯分のコーヒーを抽出します。

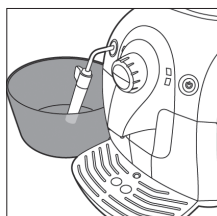
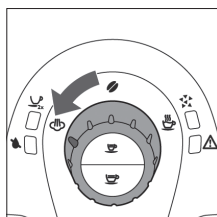
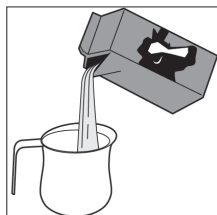
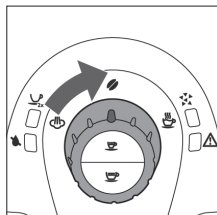
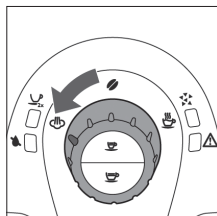


4. 電源ボタンを押してマシンの電源を切ります。

— コーヒーを抽出した場合、電源が切れる前にマシンは軽く内部回路のすすぎを行います。

⚠ マシンがスタンバイモードになった場合、30 分後に自動的に電源が切れます。

カプチーノなど、ミルクメニューの作り方



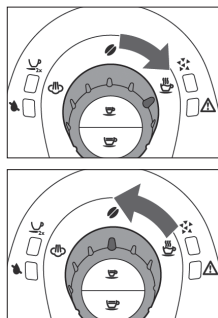
電源を入れた後に直ぐ、もしくはコーヒー抽出後にミルクを泡立てたい場合、内部回路にまだ水分が残っている可能性があります。
まず、この水をマシンから排出させる必要があります。

1. スチームノズルの下に大きめのカップを置いてください。
2. 切替ダイヤルをスチームのアイコンに合わせてください。
—水が過熱されている間、電源ボタンが点滅します。
—熱湯がスチームノズルから出てきます。
3. スチームノズルからお湯ではなくスチームが出始めたら、切替ダイヤルをコーヒー豆のアイコンに戻してください。
4. ピッチャーの 1/3 までミルクを注いでください。
⚠ ミルクをうまく泡立てるために、温度 5℃ 程度、脂肪率 3% 以上の冷やしたミルクをご使用ください。お好みで無調整乳やセミ・スキムミルクもご使用いただけます。
5. ノズルをミルクに差し込み、切替ダイヤルをスチームのアイコンに合わせます。ピッチャーをやさしく回し、上下に動かしながらミルクを泡立てます。
6. ミルクの泡がご希望の厚さになったら、ダイヤルをコーヒー豆アイコンに戻します。
ミルクを泡立てた後、マシンはコーヒーを抽出する前に冷却時間が必要です。

次の手順に従ってください。

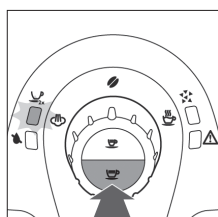
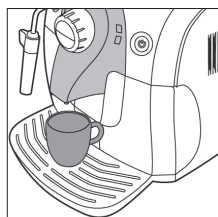
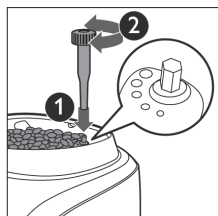
1. エスプレッソかエスプレッソルンゴボタンを押してください。
—電源ボタンが速く点滅し、マシンが過熱状態のため抽出作業を行えないことを表示します。
2. スチームノズルの下にボールなどの容器を置いて、切替ダイヤルをお湯アイコンに合わせてください。
3. お湯がスチームノズルから流れます。
4. お湯の流れが止まり、電源ボタンが点滅から点灯に代わるまでお待ちください。
5. 切替ダイヤルをコーヒー豆アイコンに戻してください。
—マシンはコーヒーを抽出できます。

給湯



1. ON/OFF ボタンが点灯していることを確認してください。ゆっくり点滅している間は加熱中です。
2. スチームノズルの下にカップをセットしてください。
3. 切替ダイヤルをお湯アイコンに合わせてください。スチームノズルからお湯が流れます。
4. ご希望の量までお湯がカップに注がれたら、切替ダイヤルをコーヒー豆アイコンに戻します。

マシンの調整



コーヒー豆の挽きの粗さと、抽出量の調整によりお好みの味にカスタマイズされたコーヒーを抽出できます。

《セラミックグラインダーの調整》

コーヒー豆の挽きの粗さの調整ができます。選択された挽き度合に対して、セラミック製のミル刃が、毎回抽出されるコーヒーに均一に挽かれたコーヒー豆を保証します。これにより、コーヒー豆のアロマを損なうことなく良質な味わいのコーヒーを提供できます。

1. グラインダー調整ツマミを強く押し、一度に1段階ずつ回してください。挽き目の粗さは5段階まで調整できます。粗さを示す点が小さいほど味は濃くなります。段階の変更後、2, 3杯抽出してから変化を実感することができます。

⚠ グラインダーを傷つけないために、ツマミを1段階以上一度に回さないでください。

《コーヒー抽出量の調整》

味のお好みとカップの大きさに合わせて、コーヒーの抽出量を調整することができます。エスプレッソとエスプレッソロング両方のボタンで設定することができます。

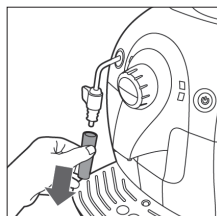
1. ドリフトレイ目皿の上にカップを置いてください。
2. ご希望のコーヒーボタンを押して続けて下さい。マシンがコーヒーを挽き始めたら、ボタンを離してください。

— 2杯抽出ボタンと電源ボタンがゆっくり点滅します。

3. カップにご希望の量が注がれたら再度同じボタンを押してください。以降、今回セットされた量のコーヒーを自動的に抽出します。

定期的な清掃とカルキ洗浄作業は、マシンの寿命を延ばし、抽出されるコーヒーの味と品質を保ちます。

- ⚠ マシンを水やその他の液体に浸さないでください。
- ⚠ たわしや研磨剤、強力な洗浄薬品を絶対に使わないでください。
- ⚠ 洗浄前に必ずマシンの電源を切り、冷却しているのを確認してから行ってください。
- ⚠ 取り外せるパーツに洗浄機で洗えるものではありません。流し場で洗浄してください。



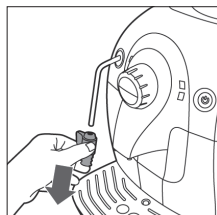
《パナレロとスチーム / 給湯ノズルの洗浄》

毎使用後にノズルを濡れた生地で拭いてください。毎週 1 回ノズルを洗浄してください。

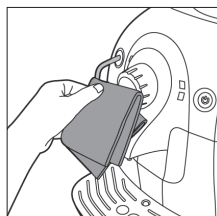
1. スチームノズルの上部を持ち（高温注意）ゴムグリップを下に引っ張りながら取り外してください。

⚠ スチームノズルは熱い場合があります。

パナレロを使用している場合は、チューブと上部パーツを取り外してください。



2. チューブと上部パーツをきれいな水で流し、乾いた布の上で乾かしてください。



3. ノズル本体に残っている牛乳を濡れた布で拭いてください。
4. ゴムグリップとパナレロ（使用していれば）をノズルに差し込んでください。正しく差し込まれるとクリック音が鳴ります。

ブルーイングユニットの洗浄

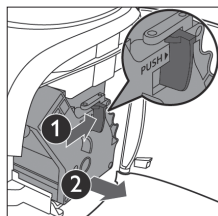


図 1

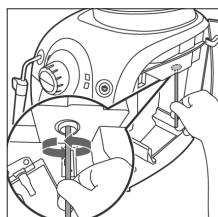


図 2

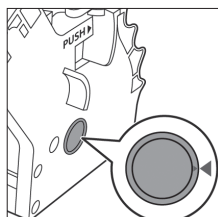


図 3

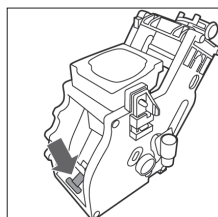


図 4

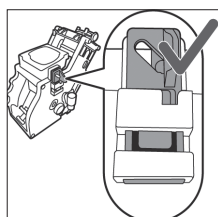


図 5

⚠ 洗浄機での洗浄、食器用洗剤やその他洗浄液を使って洗浄しないでください。

1. 電源を切り、プラグを抜いてください。
2. コーヒーカス容器を本体から外してください。
3. サイドドアを開けてください。
4. PUSH ボタンを押しながらブルーイングユニットをつかんで水平に引き、本体から取り外してください。(図 1 参照)
5. スプーンの取手が、先の丸いものでコーヒー排出口をきれいにしてください。(図 2 参照)
6. 水、またはぬるま湯でユニット本体の外側を流してください。

⚠ 食器用洗剤やその他洗剤を使わないでください。

⚠ ブルーイングユニットを乾かすために布巾などの生地を使うと繊維が中に入り込んでしまいます。水で流した後は、振って余分な水分を切るか、空気乾燥させてください。

7. ブルーイングユニットを本体に戻す前に、ユニット側面にある 2 つの設置位置ロゴが合っているか確認してください。合っていない場合は次の手順に従ってください。(図 3 参照)

—レバーがユニットの底と接触していることを確認してください。(図 4 参照)

8. ユニットの固定フック（ロックフック）が正位置にあることを確認してください。(図 5 参照)

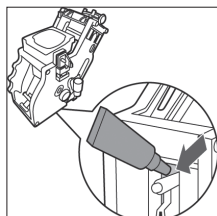
⚠ フックが下に落ちていないと正位置になっていません。

9. カチッと鳴るまで底の両側にあるガイドレールに沿って差し込みマシンに戻してください。

⚠ “PUSH” ボタンは押さないでください。

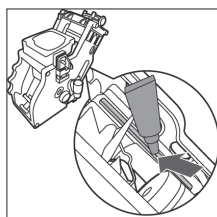
10. サイドドアを閉めてください。
11. コーヒーカス容器をマシンに戻してください。

ブルーイングユニットのグリスアップ

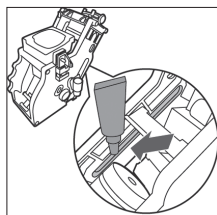


マシンの性能を保つために、500 杯抽出毎、もしくは 3 か月ごとにブルーイングユニットのグリスアップを行ってください。

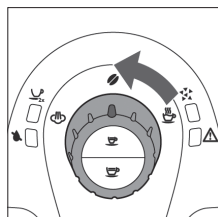
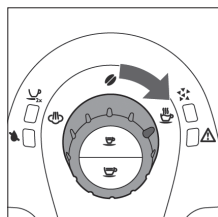
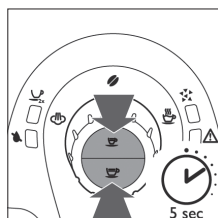
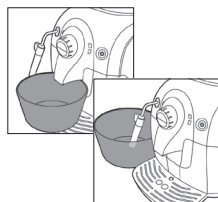
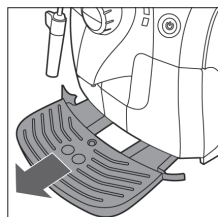
1. 電源を切ってプラグを抜いて下さい。
2. “ブルーイングユニットの洗浄” の 2~4 のステップを実行しブルーイングユニットをマシンから取り外してください。
3. ブルーイングユニットの底にあるシャフトにグリスを適量塗ってください。



4. 図表に提示されているパーツの両側にグリスを塗ってください。



5. “ブルーイングユニットの洗浄” の 7~11 のステップを実行しブルーイングユニットとカス容器をマシンに戻してください。



使用を重ねるごとにマシン内に石灰（カルキ）が溜まっていきます。除石灰ランプがオレンジ色に点灯したらカルキ除去を行うことは非常に大切です。マシンのカルキ除去にはガジア専用の除石灰溶液をご使用下さい。ガジア専用除石灰溶液はマシンの性能を最高に保つため作られた除石灰剤です。

《カルキ洗浄手順》

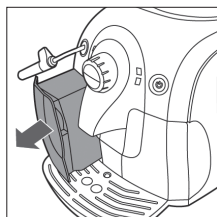
カルキ洗浄作業は約 30 分かかります。カルキ洗浄と回路洗浄（すすぎ）の 2 段階で構成されています。

《準備》

1. 電源を切ります。
⚠ 電源を切らないとカルキ洗浄作業を開始できません
2. ドリップトレイを空にして再び設置します。パナレロ（使っていれば）を外します。
3. 水タンクを空にし、インテンザ浄水フィルターを外します（使っていれば）。水タンク内に除石灰溶液（180 cc）を全てを注ぎます。
4. 水タンクの MAX 表示まで水を注ぎ、除石灰溶液に混ぜます。
5. 切替ダイヤルがコーヒー豆アイコンに合わせているか確認します。
6. スチームノズルの下にボールなどの容器を置きます。

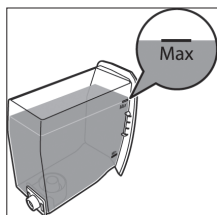
《カルキ洗浄作業》

1. エスプレッソとエスプレッソソングボタンを同時に約 5 秒程度押し続けます。
—カルキ洗浄作業中は除石灰ランプがオレンジ色にゆっくり点滅し続けます。
2. 切替ダイヤルをお湯のアイコンに合わせ、スチームノズルからお湯を出します。10 秒ほどスチームノズルからお湯を流し続けます。
3. 切替ダイヤルをコーヒー豆アイコンに戻します。1 分程度待つて除石灰溶液を反応させます。
4. エスプレッソボタンを押してコーヒーを 1 杯抽出します。更に 1 分待つて、除石灰溶液を反応させます。
⚠ カルキ洗浄作業中はグラインド機能が停止しています。コーヒーボタンを押しても抽出されるのはお湯だけです。
5. 2~4 の作業を “水タンク空” ランプが点灯するまで続けます。



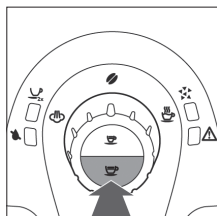
《すすぎ作業》

1. 水タンクをマシンから外し、水ですすぎます。

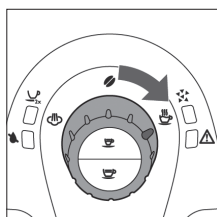


2. “MAX” 表示位置まで新しい水を満たし、水タンクをマシンに戻します。

3. ボールなどの容器を空にした後、再びスチームノズルの下に置きます。



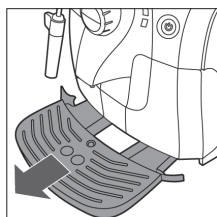
4. エスプレッソソングボタンを押しコーヒーを抽出します。これを 2 回繰り返します。



5. 切替ダイヤルをお湯アイコンに合わせます。

6. 水タンク水位ランプが点灯するまでお湯を出し続けます。

⚠ お湯の流れを止めたい場合は、切替ダイヤルをコーヒー豆アイコンまで回します。再度お湯を流したい場合は、切替ダイヤルを再びお湯アイコンに戻します。



7. ドリフトトレイを外し、水で洗い、元の場所に設置します。

8. パナレロを元の場所に設置します。

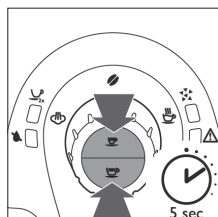
9. 水タンクを取り外し、水で洗います。

10. インテンザと浄水フィルターを再設置します（有れば）。

11. “MAX”の表示まで新しい水を満たし、水タンクをマシンに入れます。

12. ON/OFF ボタンを押し、マシンの電源をオフにします。

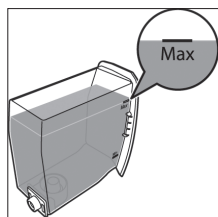
—改めて電源を ON にしたときにマシンは再び使用可能となります。



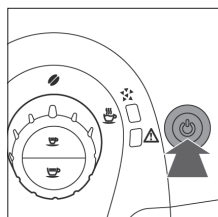
《カルキ洗浄作業を完了できない場合》

カルキ洗浄作業中にマシンの動きが止まってしまった場合は、ON/OFF ボタンを押してください。これによりカルキ洗浄作業を終了することができます。コーヒーを再び抽出する準備ができているか確認するために、以下の手順に従ってください。

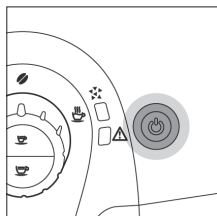
1. エスプレッソとエスプレッソロングボタンを同時に 5 秒ほど押し
てください。
2. ドリフトレイを外し水で洗い、戻して下さい。
3. 水タンクを取り外して水洗いしてください。



4. 水タンクの MAX 表示まで新しい水をいれて、マシンに戻してくだ
さい。
5. エスプレッソロングボタンを押しコーヒーを抽出します。これを 2
回繰り返します。
6. 切替ダイヤルをお湯アイコンに合わせます。水タンク水位ランプが
点灯するまでお湯を出し続けます。
7. ドリフトレイを外し水で洗い、戻して下さい。
8. パナレロを元の場所に設置します。
9. 水タンクを取り外し、水で洗います。
10. インテンザと浄水フィルターを再設置します（有れば）。
11. “MAX” の表示まで新しい水道水を満たし、水タンクをマシンに入
れます。
12. ON/OFF ボタンを押し、マシンの電源をオフにします。

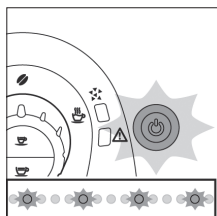


各ランプの説明



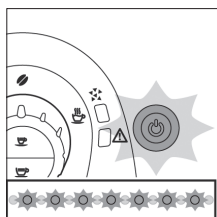
—ON/OFF ボタンが点灯している。

マシンの使用が可能です。



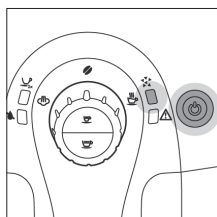
—ON/OFF ボタンがゆっくり点灯している。

マシンは待機中です。



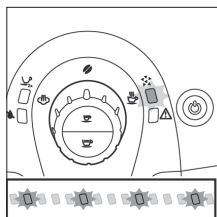
—ON/OFF ボタンが速く点滅している。

マシンが過熱状態です。お湯をカップ1杯分抽出してマシンを冷却してください。



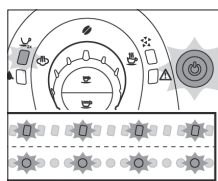
—除石灰ランプと電源ランプ両方が点灯している。

カルキ洗浄作業をする必要があります。説明書のカルキ洗浄作業の項目を参照ください。



—除石灰ランプがゆっくり点滅している。

カルキ洗浄作業中です。

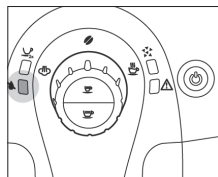


—2杯抽出ボタンと電源ボタンがゆっくり点滅している。

マシンがコーヒー量を設定中です。“使用方法”の“コーヒー抽出量の調整”項目をご確認ください。

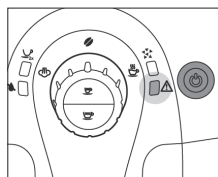
—2杯抽出ボタンが点灯し、ON/OFF ボタンがゆっくり点滅している。

マシンが2杯分のコーヒーを抽出中です。



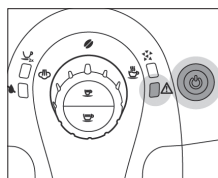
—水タンク水位ランプが点灯している。

水の量が少なすぎます。MAX 表示の位置まで水タンクに新鮮な水を満たしてください。



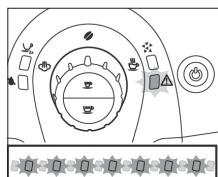
—警告ランプが点灯し、ON/OFF ボタンが消えている。

豆カス容器が満タンです。電源を切らずに容器を取り外してからにしてください。容器をマシンに入れ戻す前に警告ランプが点滅していることを確認して下さい。



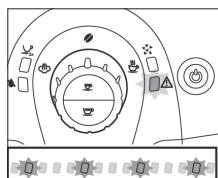
—警告ランプと ON/OFF ボタンが点灯し続けている。

コーヒー豆容器が空です。コーヒー豆を補充してください。



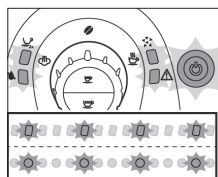
—警告ランプが速く点滅している。

内部回路に水がありません。切替ダイヤルをお湯アイコンに合わせ、お湯がスムーズに流れるまでお湯を出し続けてください。“マシンの起動準備”内、“マシンの起動”のステップ3と4に従ってください。



—警告ランプがゆっくり点滅している。

ブルーイングユニットが正しく設置されていない、豆カス容器が設置されていない、サイドドアが閉まっていない、もしくは切替ダイヤルが正しい位置に設定されていない。ブルーイングユニットや豆カス容器の設置、サイドドアの開閉、切替ダイヤルの位置をご確認ください。ブルーイングユニットを取り外せない、戻せない場合は電源を一旦切って、再度 ON にしてください。



—全てのランプが同時に、ゆっくり点滅している。

マシンが使用不可の状態です。30秒間電源を切って、入れなおしてください。これを2、3度繰り返してください。それでもマシンがリセットされない場合は、最寄りのメンテナンスセンターへご連絡ください。

よくあるお問い合わせ

この項目ではマシンの使用の際に最も多く発生するトラブルを要約しています。以下の情報に従っても問題が解決されない場合はガジアの公式ウェブサイトで追加情報をご確認いただくか、フジ産業（株）三郷センターにご連絡ください。

トラブル	解決方法
マシンが動かない	電源プラグが差し込まれていることをご確認ください。
	マシンの定格電気容量とご使用の電気容量があっていることをご確認ください。
カルキ洗浄作業中にマシンが動かなくなった	ON/OFF ボタンを押してください。カルキ洗浄作業をはじめから再開するか、“カルキ洗浄作業を完了できない場合”をご参照ください。
コーヒーが十分に温かくない	カップにお湯を注いで温めてからご使用ください。
	更に薄いカップをご使用下さい。
お湯もしくはスチームがノズルから出てこない	ノズルの穴が詰まっているかご確認ください。必要であれば洗浄してください。
	パナレロが汚れているかもしれません。パナレロを洗浄してください。
エスプレッソのクレマが少ない	違うタイプの豆を使うか、グラインダーの挽き粗さを調整してください。
マシンが温まるのに時間がかかり、コーヒーも少ししか抽出されない。	カルキ除去作業を行ってください
ブルーイングユニットを取り外せない	サイドドアを開く前に豆カス容器を取り外してください。それでも外せない場合は、豆カス容器を入れ直し、サイドドアを開め、電源を切ってください。再度電源を入れ、抽出準備を完了させてください。再度ブルーイングユニットを取り出してみてください。
ブルーイングユニットを差し込めない	ブルーイングユニットのレバーがユニットの底と接触している、フックが正しい位置に設置されていることをご確認ください。それでも差し込めない場合は、豆カス容器を入れ直し、サイドドアを開め、ブルーイングユニットが外れた状態のまま電源を入れ直してください。マシンが準備を完了したら、電源を切って再度ブルーイングユニットを差し込んでみてください。
豆はグラインドされるがコーヒーが抽出されない	コーヒー排出口を掃除し、挽きの細さを 1 段階粗めに下げてください。
	ブルーイングユニットを洗浄してください。
	水タンクに水を入れてください。
	コーヒー排出口を洗浄してください。
コーヒーの味が薄い	グラインダーの挽きの段階を 1 段階細かめに設定してください。
	新しいグラインダーの設定にマシンが適応するまで数杯コーヒーを抽出してください。
	違うタイプの豆をご使用下さい。
水がドリフトトレイに垂れる	これは正常です。美味しいコーヒーを抽出するために毎回マシンは回路内洗浄を行います。その水が排出口から流れてドリフトトレイに垂れることがあります。ドリフトトレイを定期的に空にして下さい。
マシンから水漏れが起きている	ドリフトトレイに水が溜まり、溢れている状態で抽出やカルキ洗浄作業を行っている。
	水タンクから水漏れしていないか確認する
	ブルーイングユニットとその下と後ろに設置されているドレイン容器が詰まっているかもしれません。ぬるま湯でブルーユニットを洗浄し、上部のフィルターをやさしく掃除してください。更にマシン内部を柔らかい生地で掃除してください。
カップ内に十分なコーヒーが抽出されない	内部回路内に空気が入っているかもしれません。切替ダイヤルをお湯に設定し、お湯を出し続けて内部回路の空気抜きを行ってください。
	ブルーイングユニットを洗浄してください。ください。

製品仕様

電圧	サイドドア内部に表記
消費電力	サイドドア内部に表記
サイズ	W295mm x H325mm x D420mm
重さ	6.9 kg
素材	プラスチック
電源コード長さ	1.2m
水タンク容量	1000ml
使用可カップサイズ	高さ 95 mmまで
豆ホッパー容量	200g
豆カス容器容量	8 杯
ポンプ圧力	15 気圧
ボイラー	ステンレススチール
安全装置	温度ヒューズ

《マシンの破棄》

本製品は家庭用廃棄物として処理できません。

本製品に関する詳しいリサイクル情報については、地域の行政機関、ごみ処理業者にお問い合わせをお願いします。

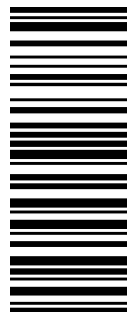
《保証とアフターサービス》

保証

- ・ 本製品には、保証書を別途添付しております。
 - ・ 必ず保証書の記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合は保証の対象外になりますのでご注意ください。
 - ・ その他、補償に関しての詳しい内容は保証書をご参照ください。
- 保証期間：お買い上げの日から1年間です。
- ・ ご不明な点や修理に関するご相談は「フジ産業（株）三郷センター」へご連絡ください。
 - ・ 「よくあるお問い合わせ」を良くお読みの上、故障かどうかをもう一度確認してください。
- なお、異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き「フジ産業（株）三郷センター」へご連絡ください。

ご質問、お問い合わせは、弊社WEBサイト「www.gaggia.jp」をご確認頂か弊社、またはご販売店にお問合せください。

GAGGIA S.p.a. は、本製品に関する必要と思われるすべての変更を行う権利を留保します。



421946503061

COD.

- Rev.00 - 13/07/20

ご購入店：

社版欄

GAGGIA
MILANO

GAGGIA S.p.A.

Sede Legale/Registered Office

Piazza A.Diaz, 1
20123 MILANO

Sede Amministrativa/Administrative Office

Via Torretta, 240
40041 Gaggio Montano (BO)
+39 0534 77111

フジ産業株式会社 三郷センター

〒341-0044

埼玉県三郷市戸ヶ崎 1 丁目 105

TEL.048-949-2888 FAX.048-949-4141

※日曜日を除く

www.gaggia.jp